

令和3年9月1日

登録番号	13	—	037
氏名	林	久	善

登録番号	19	—	001
氏名	石井	大輔	

大阪市地域公共人材活動報告書

- 1 派遣日時 2021年8月29日（日）14:00～16:15
（第1回次）
- 2 派遣場所 グローバルユース防災サミット ZOOM ミーティング
- 3 参加人員 グローバルユース防災サミット5人/地域公共人材2名/事務局1名 計8名
- 4 活動内容

(1) ミーティングのテーマ

第1回「仲間になってもらいたい人／想定参加者の解像度を高める」

(2) 進行

ア 前回振り返り

- ・サミット開催及びユース向け防災活動の推進に向けて、目標、現状把握、課題、解決に向けた方向性を議論し、今後の対話の計画（派遣計画）を設定したことを確認。
- ・今回は上記テーマに沿って対話を行うこととしていることを共有。

イ 今回テーマに関するレクチャー

- ・人材からメンバーに今回のポイントとなる事項についてレクチャー

ウ メンバーからの進捗状況の報告と共有、ディスカッション

- ・ICTを活用して広報しているが参加にはつながっていない
- ・いいね！はユース層ではなく、その層よりも高い世代。
- ・グミ外交は企業に協賛を働きかけているが反応はよくない。
- ・札幌の青少年消防団からの参加表明があった。

エ まとめ

- ・評価方法は、参加人数、満足度調査、共同宣言の発出など、多角的に検討できることを伝えた。
- ・SNSの発信に際してハッシュタグの活用をすることを伝えた。
- ・企業にはリターンも提供できるように工夫する。CSR部門へのアプローチも有効であることを伝えた。
- ・防災に関心のある人にターゲットを絞ることが効果的であると思われる。
- ・多数への呼びかけでなく、個人や団体に呼び掛けることが有効と考える。

オ 次回の課題（9/4（土）14:00～16:00）

- ・参加者が何を得られるのか！を、より明確にするために対話する必要がある。

- ・参加を得るために、防災に関心のある人、団体に広報するために、各メンバーが調べておく。
- ・ターゲットを明らかにしてどのような言葉で呼びかけるかを次回に検討する。
- ・広報先に対するアプローチ（メッセージや届ける情報）と、だれが担当するか検討する。

<所感>

今回のサミットの広報は、SNS、各種情報誌、大阪日日新聞（無料個別世帯配付版）などメンバーで相当広く知らしめておられると認識していますが、参加者の獲得までには至っていない現状と把握しています。

ついては、ターゲットを明らかにして「あなた」、「あなたたち」に参加してほしい旨を伝える方法を模索することが重要と考えます。

そのためには、参加することにより得られる便益を明らかにするとともに、各メンバーのコンネクション、ネットワークを再度掘り起すといった話し合いが有効と考えます。

各メンバーが主体的に関わることになった動機なども参考にしながら、人材からの理論的なレクチャーのもとで、これまでの経験やコンネクションを活かして支援したいと考えます。

<所感>

グミ外交を担当している中学2年生の発想力と行動力に頭が下がります。発想と行動が成果につながるように協力したいと思いました。また、グローバルユース防災サミット参加者の獲得、具体的な行動につながることを意識して議論をファシリテート・コーディネートしていきたいと思っています。